

平成 31 年度

文化財保存学保存修復

修士課程 Ⅱ期 入試

実技試験

石膏デッサン

<モリエール>

試験時間

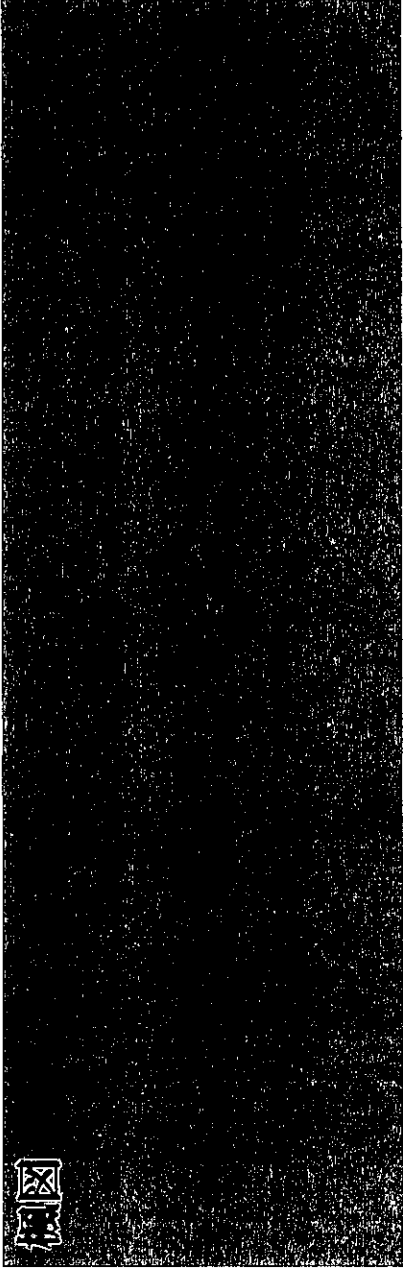
5 時間

10:00~12:00

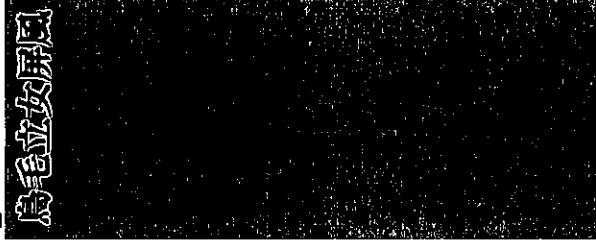
13:00~16:00

志望専攻		受験番号	氏名
------	--	------	----

1



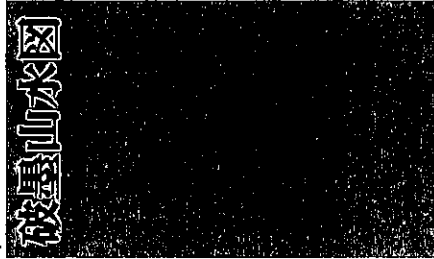
2



3



4



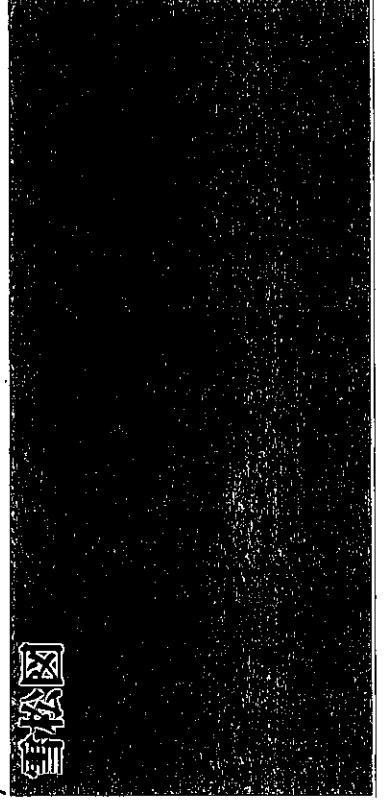
5



8



7



6



問題用紙 A

平成 31 年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題

(筆答試験)

専門 保存油画

志望専攻		受験番号		氏名	
------	--	------	--	----	--

問題 1. 下に示した 1~4 は絵画制作に用いられている材料名である。その内から一つを選択し、その特徴や性質について 300 字以内で説明しなさい。

1. 膠
2. 石膏
3. ワニス
4. コンテ

問題 2. 油彩画制作には主に「乾性油」と「揮発性油」が用いられる。この二つの性質の違いとそれぞれの役割について 300 字以内で説明しなさい。

問題 3. 下に示した 1~3 は絵画技法の名称である。その内から一つを選択し、その技法の特徴について 300 字以内で説明しなさい。

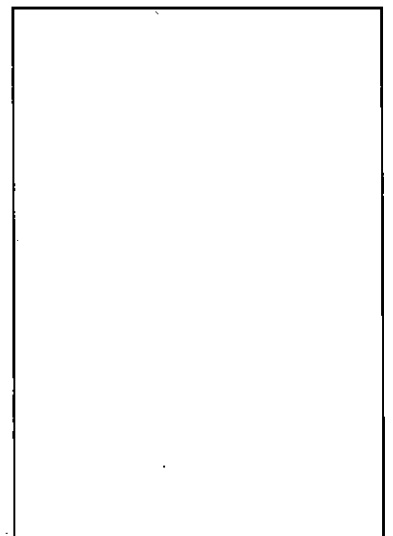
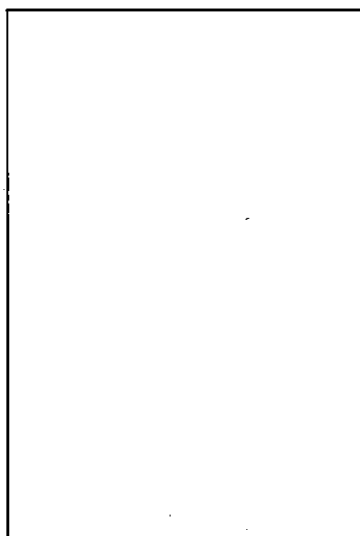
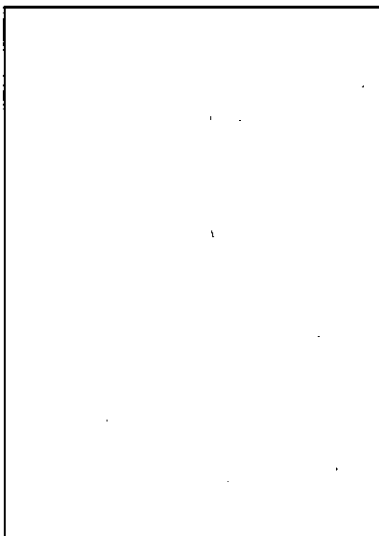
1. 水彩画
2. フレスコ画
3. テンペラ画

問題 4. 下に示した写真は修復前に調査のために撮影された写真である(①正常光写真、②紫外線蛍光写真、③側光線写真)。これら 3 枚の写真から、この作品の損傷状態について、気がついた点を 300 字以内で説明しなさい。

①正常光写真

②紫外線蛍光写真

③側光線写真



平成 31 年度 文化財保存学専攻修士課程 入学試験問題（筆答試験 2）専門

保存修復彫刻 問題用紙

受験番号	氏名

【問 1】

解答用紙の記入例にならない、選択欄 A の語句について読みがなを記入し、簡潔に説明しなさい。

選択欄 A	鋸	条帛	匏	臂釧	裙	螺髪
-------	---	----	---	----	---	----

【問 2】

次の文章にある空欄【①】～【⑧】を、選択欄 B の語句を用いて埋めなさい。ただし、各語句の選択は一度までとする。

奈良県新薬師寺に安置される薬師如来坐像は、針葉樹材である【①】を用いた【②】造の像であり、大きな目、迫力のある体軀が特徴である。
 両脚部は、1本の丸太を割って得た【③】材を集めて作られており、あたかも一本の木から像を彫りだすかのような工夫がなされている。また像表面は【④】仕上げで、神護寺薬師如来立像などと同様に【⑤】が意識されていると言える。なお、この薬師如来像を取り囲むように【⑥】像が安置されており、【⑦】時代における【⑧】の傑作として知られている。

選択欄 B	檀像	ヒノキ	カヤ	ケヤキ	寄木	横	縦	一木	素木
	十二神将	仁王	天平	飛鳥	鎌倉	塑像	木彫像	金銅仏	

【問 3】

次の語句 a～c について、解答欄に収まる範囲で簡潔に説明しなさい。また、a～c の技法が用いられている作例を、選択欄 C よりすべて選びなさい。

- a. 一木造 b. 寄木造 c. 木心乾漆造

奈良県東大寺法華堂執金剛神立像 奈良県法隆寺夢殿観音菩薩立像（救世観音） 奈良県薬師寺金堂薬師如来坐像 奈良県室生寺金堂薬師如来立像（伝釈迦如来）	奈良県聖林寺十一面観音菩薩立像 奈良県円成寺大日如来坐像 奈良県醍醐寺三宝院弥勒菩薩坐像 奈良県興福寺八部衆のうち乾闥婆立像
--	---

【問4】

選択欄Dにあるア～カの中から好きな像を2つ選び、名称・制作された時代や、造形・構造技法の特徴などについて、それぞれ解答欄に収まる範囲で記述しなさい。

選択欄D

ア

興福寺八部衆のうち阿修羅立像

イ

清涼寺
釈迦如来立像

ウ

観心寺
如意輪観音菩薩坐像

エ

東大寺法華堂(伝)月光菩薩立像

オ

東大寺(鎮守八幡宮)僧形八幡神坐像

カ

東大寺南大門金剛力士立像(吽形)

平成 31 年度 文化財保存学専攻修士課程 入学試験問題（筆答試験 2）専門

保存修復彫刻 解答用紙

受験番号	氏名

【問 1】

語句	読み	説明
例：三道	さんどう	仏像の首にあらわされる、しわの表現。
鋸		
条帛		
鉋		
臂釧		
裙		
螺髪		

【問 2】

- ①【 】 ②【 】 ③【 】 ④【 】
 ⑤【 】 ⑥【 】 ⑦【 】 ⑧【 】

【問 3】

a. 一木造

〈技法の説明〉
〈作例〉

b. 寄木造

〈技法の説明〉
〈作例〉

c. 木心乾漆造

〈技法の説明〉
〈作例〉

【問4】

(仏像の名称：

※記号でなく漢字で記すこと)

(仏像の名称：

※記号でなく漢字で記すこと)

平成31年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題
筆答試験(2) 専門 保存修復工芸 問題用紙

受験番号	氏名

【問1】 A 枠内にある①～⑥の中から二つ選び、下線 _____ が引かれている箇所の読みがなをひらがなで記入し、300字程度で作品について解説しなさい。また、その作品に当てはまる写真をB枠内ア～カの中から選び、記号で答えなさい。

A	①《白縮緬地衝立鷹文様中袖》 江戸時代	④《籠手》 鎌倉時代
	②《八橋蒔絵螺鈿硯箱》 江戸時代	⑤《片輪車蒔絵螺鈿手箱》 平安時代
	③伝仁清《色絵釘隠》 江戸時代	⑥青木木米《染付龍瀟文提重》 江戸時代

B

ア 《色絵釘隠》	イ 《片輪車蒔絵螺鈿手箱》	ウ 《白縮緬地衝立鷹文様中袖》	エ 《籠手》
オ 《八橋蒔絵螺鈿硯箱》	カ 《染付龍瀟文提重》		

【問2】 工芸に関する用語について下記枠内1～15の中から三つ選び、それぞれの用語の読み仮名をひらがなで記入し、解説しなさい。

1 蘇麻離星	2 長板中形	3 稲垣稔次郎	4 絵梨地	5 高台寺蒔絵
6 回青	7 更紗	8 森口華弘	9 極真焼	10 葦手
11 南蛮蒔絵	12 呉須	13 有職文様	14 本根朱	15 石子青

【問3】 今まであなたが接してきた修復事例の中で特に印象に残っているものを一つ上げ、作品の名称・年代・概要とともに、どのような機会にどこで接したか、何故印象に残っているかを述べなさい。(600字以内)

